

IOSCO プレスリリース

IOSCO 専門委員会は G20 の目標を支援するためのタスクフォースを設置

マドリッド

2008 年 11 月 25 日

証券監督者国際機構（IOSCO）専門委員会は 11 月 24 日、金融市場及び投資家保護を強化することに焦点を当てながら、継続する市場の混乱に対処するための詳細な作業計画を作成するために、電話会議を開催した。

クリストファー・コックス IOSCO 専門委員会議長は、次のように述べた。

「IOSCO 専門委員会は、ショート・ポジションと取引活動に対する報告要件を含む、市場濫用的な空売りに対する国際的規制手段の調和のために緊急対応をしている。」

「世界中の 100 以上の証券規制当局を代表する IOSCO は、現下の金融危機に対処するための調和のとれた規制的解決策を策定する中心的な役割を担っている。取引濫用への規制は、効果的であるために、主要な市場間で調和されなくてはならない。これは空売りだけに当てはまるだけでなく、デリバティブ取引や、ヘッジファンドなどの現状規制されていない事業体の活動にも当てはまる。これらの各課題について専門委員会が立ち上げた 3 つのタスクフォースは、国際資本市場が、健全な基盤の上に、調和のとれた手法を持って、現在の混乱に対処することを確保するのに役に立つであろう。」

専門委員会の各タスクフォースは、下記の課題について検討する。

●空売り

タスクフォースは、株の手当てのない空売りに対する受渡し要件やショート・ポジション開示を含む様々な規制的手法の格差を解消するための作業を行う。これに関連して、本タスクフォースは、どのようにすれば、資本形成及び市場の変動低減に重要な役割を果たしている正当な有価証券の貸付け、ヘッジ行為その他の種類の取引への悪影響を最小化できるかについても検証する。本タスクフォースは、香港証券先物委員会が議長を務める。

●非規制金融市場・商品

規制されていない金融市場・商品が国際資本市場に及ぼしてきた影響に鑑み、本タスクフォースは、例えばデリバティブ等の証券化商品の店頭市場などの規制されていない市場に対してより多くの透明性と監視を導入するための方法を検討する。本タスクフォースは、豪証券投資委員会及び仏金融市場庁が共同議長を務める。

●非規制金融事業体

本タスクフォースは、ヘッジファンドのような規制されていない事業体を取り巻く、取引と不透明性に係るリスクを軽減するための望ましい規制手法の開発を含む課題を検証する。本タスクフォースは、伊証券取引委員会と英金融サービス機構が議長を務める。

各タスクフォースは、2009年2月の次回の専門委員会において報告書を提出し、さらに2009年春の次回のG20サミットへ報告される予定である。